「食品を無駄なく使いきるくらし」を支える冷蔵庫AIカメラの取組み



Panasonic

冷蔵庫AIカメラの特徴

今あるもので作れるレシピを教えてくれる「冷蔵庫AIカメラ」の3つの開発ポイント



【特徴訴求】https://www.youtube.com/watch?v=vPBCDcH4zEM
【認識技術】https://www.youtube.com/watch?v=cOqcXe4KQk4

1

アプリを開けば、**いつでもどこでも**
あなたの**冷蔵庫を開く**ことができます

デュアルカメラ搭載で、冷蔵室も、野菜室も、冷凍室も
いつでも手元で庫内の画像を確認できます。

デュアルカメラ
（広角・望遠）



2

AIが**野菜の種類や入庫日を認識**
使いきりレシピを提案します

野菜画像認識AIが、画像が更新されると同時に
野菜の種類や入庫日を検出。（対象：野菜室、野菜代表60種類）

野菜認識AI
使いきりレシピ

AI

3

ご使用中の冷蔵庫*にも取り付けられます

多様なサイズ・レイアウトに対応して撮影する**後付け設置**可能なカメラとして、
既存冷蔵庫もAIカメラ化することができます

＊パナソニック製過去冷蔵庫134機種（2026年9月末時点）でご利用可能

後付け設置可能



NY-PCZE2

Panasonic

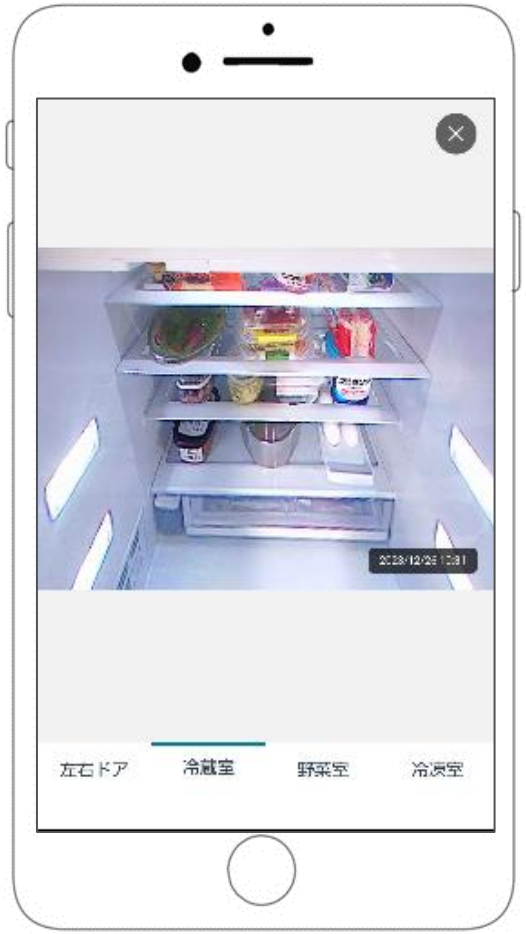
1 外出先から、冷蔵庫内がいつでも見られる

ドア・引き出しを全開すると庫内を撮影、ダブり買い・買い忘れを削減

冷蔵室　左右ドア



冷蔵室　庫内棚



野菜室（上・下段）



冷凍室（上・下段）



当社のみ*

引き出しも全段、奥まで見える

※上から3段目は死角になります

※アプリはイメージです。

＊国内家庭用冷凍冷蔵庫において。2024年5月31日発売。

Panasonic

2 【業界初】早く使うべき野菜を提案し、無駄を削減

先に使うべき野菜がぱっと一目でわかるから、新鮮に使い切れる

●在庫をリスト化

野菜を自動認識し、在庫リストを生成
早く使うべき順に、上から並べて一覧に



当社のみ*

60種の主要野菜を自動認識

●日持ちに応じたレシピ提案

当社のみ*

早く使うべき野菜のレシピ提案で
おいしく使いきれるから食品ロスを削減





冷蔵庫内の野菜から早く使うべき野菜を独自アルゴリズムで判定

その野菜を使ったレシピを提案

※アプリはイメージです。

＊国内家庭用冷凍冷蔵庫において。2024年5月31日発売。

野菜認識AI

カメラ



開閉時 撮影



野菜認識
AI

AI

AIが野菜を自動認識
アプリで食材をリスト管理できる



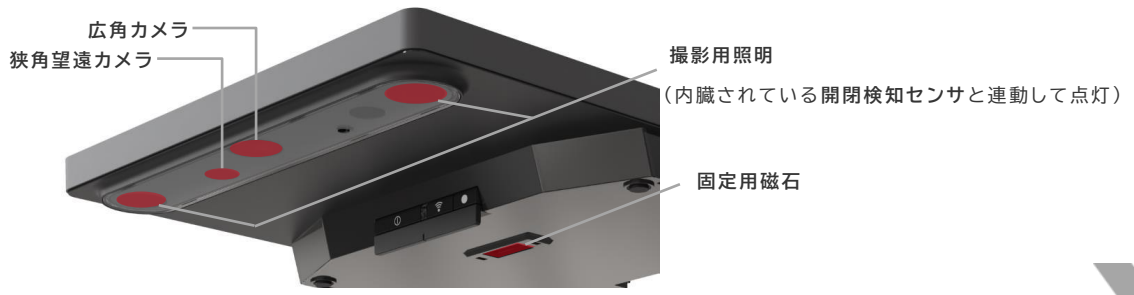
Panasonic

3 ご使用中の冷蔵庫もAIカメラ化できる

様々な冷蔵庫に対応できる柔軟設計で
パナソニック製過去冷蔵庫134機種に対応※1

※1:2026年9月末時点

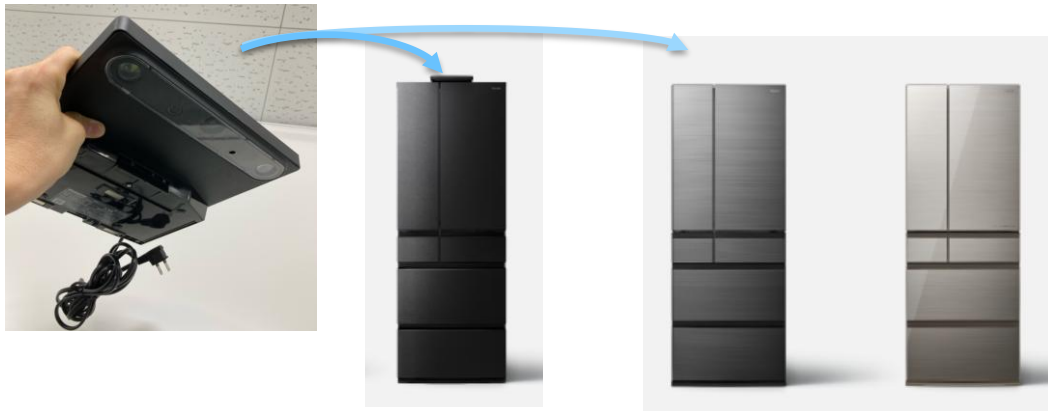
●冷蔵庫とは完全独立設計



●多様なサイズ・レイアウトに対応可能な設計

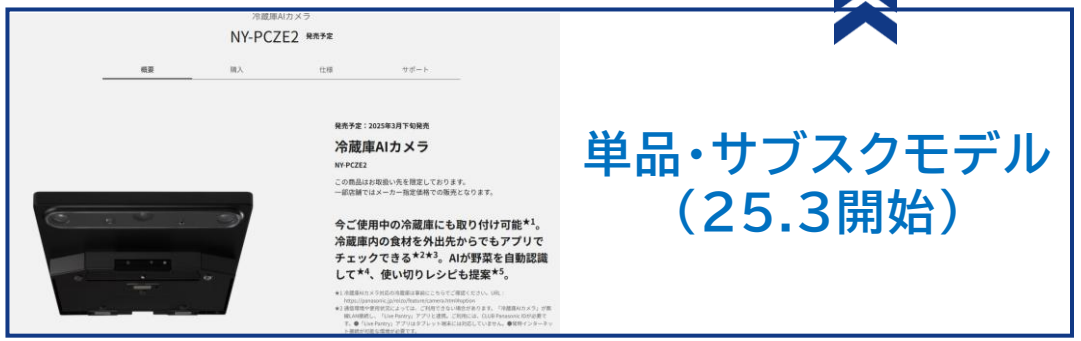


冷蔵庫に後付け設置すればAIカメラ化



カメラ同梱冷蔵庫
（24.5発売）※生産終了

カメラ対応冷蔵庫
（134機種）



単品・サブスクモデル
（25.3開始）

Panasonic

展開事例

AI・IoT技術を活用した家庭系食品ロス削減に向けて、全国の自治体や関係機関との連携を拡大し、社会実装を目指す

環境省



印刷

技術・研究開発 / プレスリリース　2025年7月3日

家庭の食品ロス削減へ、冷蔵庫AIカメラの実証実験が環境省モデル事業に採択

パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社（以下、パナソニック）が推進する、AI技術搭載の冷蔵庫を活用した家庭系食品ロス削減の効果検証が、環境省の「令和6年度補正予算 消費者の行動変容等による家庭系食品ロスの削減推進モデル事業」に採択されました。

家庭系食品ロスは、直接廃棄が全体の43%を占めています。(※1) また、食品ロスの原因として、「消費・賞味期限内にたべられなかった」「購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れてしまった」などが挙げられています。(※2)

これらの課題解決に向けて、パナソニックはAIカメラを搭載した冷蔵庫の販売、および一部のパナソニック冷蔵庫に設置できる、冷蔵庫AIカメラ単品の販売・定額利用サービスの提供をしています。(※3) 冷蔵庫のドアを開けた際にAIカメラが庫内を撮影し、食材を高精度に検出。野菜室の撮影画像からはAIが野菜の種類を自動認識し、スマートフォンアプリに登録した食材の入庫日の記録と連動して、早く食べ

横浜市



印刷

製品・サービス / プレスリリース　2025年7月23日

冷蔵庫AIカメラ活用による家庭系食品ロス削減効果を横浜市と共同で実証

パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社（以下、パナソニック）は、横浜市と連携してAI技術を搭載した冷蔵庫カメラの活用による家庭系食品ロス削減の効果検証を目的とした実証実験を行います。食品ロス削減を目的として冷蔵庫AIカメラを基礎自治体と活用する実証実験は、パナソニックとして初めてです。

パナソニックはAIカメラを搭載した冷蔵庫の販売に加え、一部のパナソニック冷蔵庫に後付け可能な冷蔵庫AIカメラ単品の販売および定額利用サービスを提供しています(※1)。冷蔵庫のドアを開けた際にAIカメラが庫内を撮影し、野菜室の撮影画像からAIが野菜の種類を自動認識。食材をスマートフォンアプリに登録した入庫日の記録と連携して、早く食べたほうがよい順にリスト化するなど、庫内の食材の消費・賞味期限切れ、食べ忘れを防ぎ、家庭から出る食品ロスの削減を目指しています。

Panasonic